

ロック®ホース専用継手 取扱説明書（ロックホース R-12、R-19、R-25専用継手）

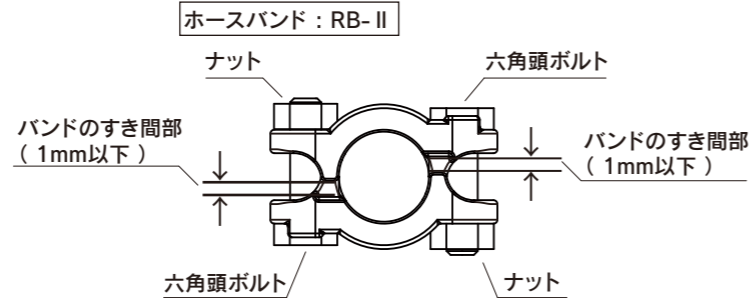
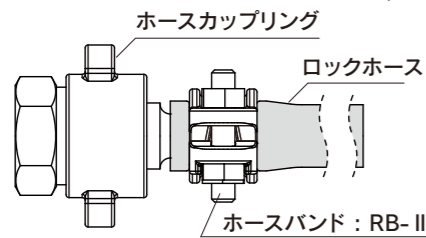
ご使用前に必ずお読みください。

△ 警告・・・死亡または重傷を負う可能性がある状態。

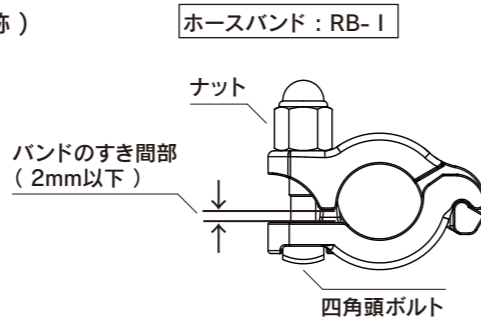
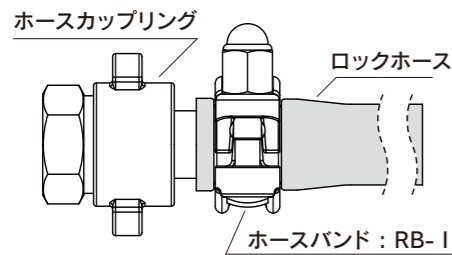
ロックホース専用継手を、「正しくお使いいただくため」の説明です。
 ホース単品同様、ご使用にあたっては制限がありますので下記の注意事項を必ずお守りください。
 万一、お守りいただけない場合は、負傷・物的損害の発生する恐れがあります。
 ご使用の際は、トヨックスのロックホース、専用ホースカップリング、専用ホースバンドとのセットでご使用ください。
 他社品へのご使用につきましては性能を保証しかねますので、ご注意ください。

各部の名称

（ロックホース R-12 専用継手 各部の名称）



（ロックホース R-19、R-25 専用継手 各部の名称）



施工上の注意

- ホースカットの際は、ホース端面が垂直になるようにカットしてください。
- 継手付近にホースの曲げ応力がかからない様に、ホース長さを十分確保してください。
- ホースが十分に挿入されている事をご確認ください。
- △ 警告 ホースを挿入する際に、ホース口表面に油等を塗らないでください。ホース抜け発生の原因になります。
- ホースカップリングに刃物等で傷をつけないでください。
- 施工後に、継手部からのホース抜けや流体漏れが生じていない事を確認してからご使用ください。
- 他社製のホース、ホースカップリング、ホースバンドで使用しないでください。
- △ 警告（ロックホース R-12 専用継手）
 ホースバンドは、上図「バンドのすき間部」が『1mm以下』になるまで2箇所のナットを交互に均等に締め上げてください。
 （ロックホース R-19、R-25 専用継手）
 ホースバンドは、上図「バンドのすき間部」が『2mm以下』になるまでナットを締め上げてください。

ナットの締め上げが不十分な状態でご使用されますと流体漏れやホース抜けによるトラブルが発生します。
 また、締め付け時に工具の滑りによるケガをしないようご注意ください。

使用時の注意

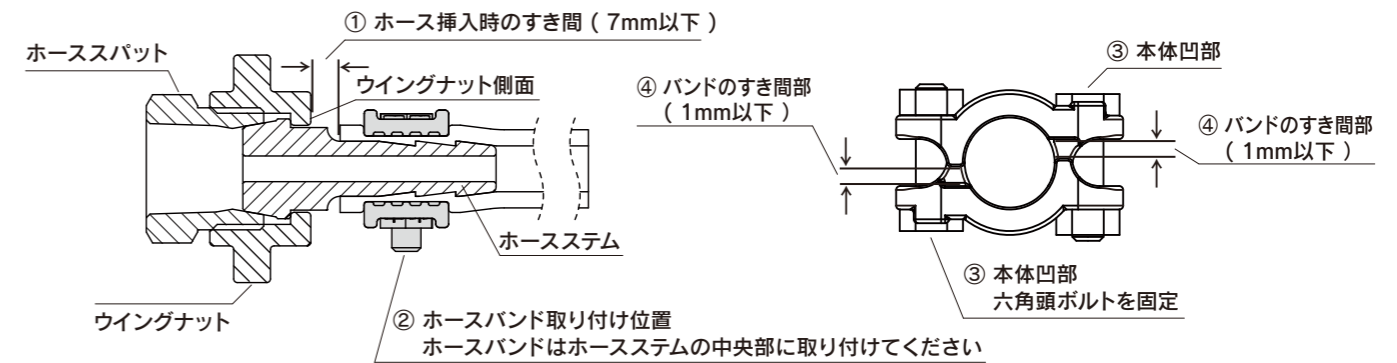
- ロックホース専用継手はトヨックスホースの“ロックホース”専用の継手です。
 他社ホース及び適合ホース以外に接続された場合は、性能を十分に発揮・維持できない場合がありますので何ら保証はいたしません。
- エア（空気）専用で使用してください。
- 適合ホースの注意事項を必ずお確かめの上、使用温度範囲は、-10～80℃、使用圧力は、0～1.0MPaの範囲で使用してください。
- 継手付近で、ホースを極端に曲げた状態で使用しないでください。
 ホースの最小曲げ半径より大きい曲げ半径でご使用ください。
- △ 警告 ホース内に流体を通しては、継手の組立・分解作業はしないでください。流体漏れやホース抜け発生の恐れがあります。
- ご使用期間中は、継手部からのホース抜けや流体漏れ、継手本体の亀裂、破損、変形等の異常が発生していないか始業点検・定期点検を実施してください。
- バンド及び継手部品に過度な衝撃を与えたり、ハンマー等でたたかないでください。割れや変形を起こし、ホースとバンドが一緒に抜ける恐れがあります。

継手の再利用とホース交換に関する注意

- 継手の再利用時には、各製品の損傷がないことを確認後、使用してください。
- 継手の再使用時には、必ず新しいホースを使用してください。
- ホース交換時に、ホースシステムの表面をカッター等で傷付けしないでください。流体漏れ発生の恐れがあります。
- 継手に亀裂、破損、変形等の異常があった場合は直ちに新しい部品と交換してください。性能を十分に発揮できず、流体漏れやホース抜けによるトラブルが発生する恐れがあります。
- 継手の再使用時に、ボルトのねじ山が潰れていた場合は、締め込みせず新しい継手に交換してください。ボルトの折れが発生する恐れがあります。

ホース取付手順

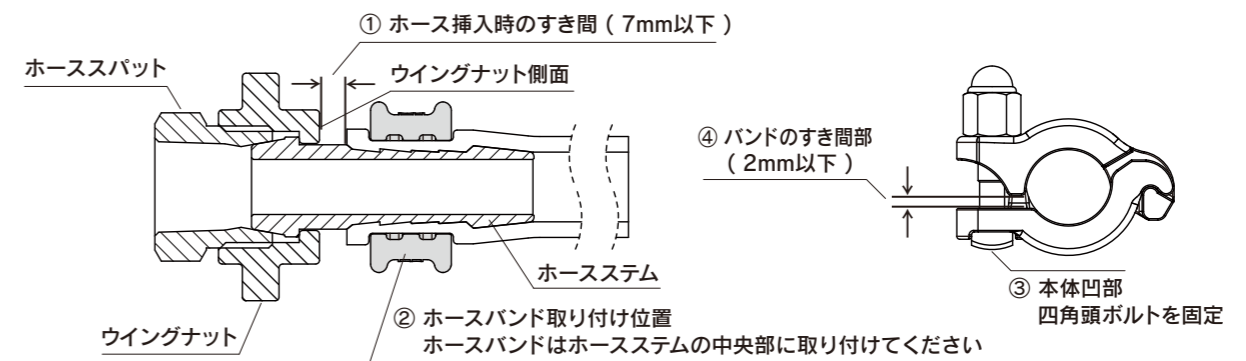
（ロックホース R-12 専用継手 ホース取り付け手順）



- ウイングナットにホースステムを入れ、ホーススパットにウイングナットをねじ込みしてください。
ウイングナットは最後まで締め上げてください。
- ホースステムにホースを挿入してください。
ホースの挿入位置は、ウイングナット端面からホース端面のすき間が『7mm以下』になるまで挿入してください。（手順①参照）
- ホースバンドは上図のホースバンド取り付け位置を参考に取り付けしてください。（手順②参照）
ボルト頭を本体凹部に固定し、ボルトが回転しないように取り付けしてください。（手順③参照）
- ホースバンドの組み立て時のすき間は、バンドのすき間が『1mm以下』になるまでナットを締め上げてください。
『1mm以下』まで締め上げできない場合は、時間を置いてから『1mm以下』になるまで増し締めしてください。（手順④参照）

- △ 注意 片よりの締め付けにならないように注意し、2箇所のナットが均等に締め上げられているかを確認してください。
- △ 注意 ウイングナット及びホースバンドのナットが締め上げ不足の場合、流体漏れ、ホース抜けの恐れがあります。
- △ 注意 最後までナットを締め上げた状態やボルトのねじ山は変形している場合、ナットを無理に締め上げるとボルトの折れが発生する恐れがあります。

（ロックホース R-19、R-25 専用継手 ホース取り付け手順）



- ウイングナットにホースステムを入れ、ホーススパットにウイングナットをねじ込みしてください。
ウイングナットは最後まで締め上げてください。
- ホースステムにホースを挿入してください。
ホースの挿入位置は、ウイングナット端面からホース端面のすき間が『7mm以下』になるまで挿入してください。（手順①参照）
- ホースバンドは上図のホースバンド取り付け位置を参考に取り付けしてください。（手順②参照）
四角頭ボルトを本体凹部に固定し、ボルトが回転しないように取り付けしてください。（手順③参照）
- ホースバンドの組み立て時のすき間は、バンドのすき間が『2mm以下』になるまでナットを締め上げてください。
『2mm以下』まで締め上げできない場合は、時間を置いてから『2mm以下』になるまで増し締めしてください。（手順④参照）

- △ 注意 ウイングナット及びホースバンドのナットが締め上げ不足の場合、流体漏れ、ホース抜けの恐れがあります。
- △ 注意 最後までナットを締め上げた状態やボルトのねじ山は変形している場合、ナットを無理に締め上げるとボルトの折れが発生する恐れがあります。

エア漏れの補修方法

- バンドのすき間がなくなるまで、ボルト・ナットを締め上げてください。
- それでも、エアが漏れる場合は、締め付けしている箇所のホースを切断し、再度取り付けしてください。
- 上記の処置を繰り返しても、エアが漏れる場合は、新しいホースに交換してください。

お問い合わせ・ご相談は
フリーダイヤル
0120-52-3132 お客様相談室まで

○ 改良のため予告なく仕様変更することがあります。

Connect to the Future
TOYOX 株式会社トヨックス
本社 / 黒部 サービスセンター / 東京・名古屋・大阪

ISO 14001 認証取得